



寿楽荘だより

発行：社会福祉法人 双葉会
介護老人福祉施設 寿楽荘
編集：広報委員会

〒198-0213 東京都西多摩郡奥多摩町海澤497
TEL 0428-83-2338 FAX 0428-83-3705
URL <http://www.futabakai.or.jp>
e-mail jyurakusou@futabakai.or.jp

第54号



新年度に向けた意識改革

介護老人福祉施設 寿楽荘
生活相談員 三浦雅彦

平成十三年三月に発表された「身体拘束ゼロ作戦」は、平成十二年四月に施行された介護保険法で原則禁止となった「身体拘束」を禁止行為としてより浸透させるための施策でした。当時の特別養護老人ホームでは不可能と思っている施設も多く、寿楽荘も当然前のように身体拘束が行われており、理想が発表されているといった印象が強かったのを覚えていきます。ですが、取り組んでみると身体拘束を行う「理由」には「介護者側の都合」が多く、職員の意識改革が一番の課題だったのです。幸い寿楽荘では転換期の苦労を受け入れてくれる職員が多かったこともあり、現在では一定の評価をいただけるまでに至りましたが、残念ながら事業年度内「ゼロ」となったことはありません。現場職員の努力により一昨年の第三者評価では「身体拘束がゼロの期間が何か月、何年になった」といった目標はどうですか」との提案までいただき、今後委員会を中心とした活動で100%を目指したいと思います。

また、意識改革が必要なのは身体拘束だけではなくありません。平成二十七年四月の介護報酬改定は、施設運営には厳しい改定となることが予想されます。職員が安心して働ける職場こそが、より良いサービスを提供できる環境につながるのですから、施設全体の意識改革を進め、将来の安定に向けた体制基盤整備のお手伝いのできればと思います。

寿楽荘敬老感謝祭

平成二十六年九月六日 敬老感謝祭を開催いたしました。

式典では、町長はじめ来賓の方々より祝辞と記念品を頂きました。

第二部の演芸では恒例となりました敬老音楽会『熱血永井楽団』に敬老感謝祭を盛り上げて頂きました。

生演奏に合わせ歌を唄い楽しませました。



有限会社ディアアイシー様よりお祝いの花が届きました。



氷川保育園児より『敬老お祝いポスター』

敬老音楽会『熱血永井楽団』



日常生活行事活動状況



7月26日『ハンドベル』



8月3日『獅子舞』



7月・8月・9月『ドッグセラピー』



8月2日『お神楽』



スイカ割り
毎年、恒例のスイカ割り。七月と八月に氷川保育園児や近所の子ども達との交流行事であり利用者の皆様にも大変好評でした。

盆踊り
寿楽荘の大きな行事の一つで、利用者様も楽しみにしていました。今年も夏は猛暑が続き、当日は暑さや雨も降りましたが、楽しく盆踊りを行いました。





リハビリ室より

『ボランティアが運んできた風』



リハビリでは、毎月7回程度“リハビリ体操”を実施しております。日頃から利用者の皆さまが楽しみにされている体操ですが、ここへボランティアが加わってくれたら…または習字、ぬり絵、編み物などの作業訓練にもボランティアが参加してくれたのなら、新たな風が吹いてこれまで以上に活気づくのではないかということで、社協広報にてボランティアを募集いたしました。その結果、数名の近隣住民の方がボランティアとして



定期的に来荘されるようになり、予想を上回る活躍をしてくださっています。体操はより一層活気に溢れ、習字の際には「絵手紙」も教えて頂けるようになったことで、利用者の方から“ボランティアさんが来るのなら参加したい”という声も多く聞こえてくるようになってきました。



また、8月には夏体験ボランティアを迎え、利用者小学生ボランティアが楽しい雰囲気ですリハビリや作業に取り組み、温かな雰囲気に包まれて笑顔の輪が広がりました。

今後も地域と連携してボランティアを受け入れ、交流を図ることで、利用者皆様の生活がより充実したものとなるように活動していく予定です。



※ボランティアについては町社協を通じて随時受入れ中です。

～リハビリ手仕事材料にご寄付いただきありがとうございました～

今年度も皆様方から頂いたタオルや毛糸から沢山の作品が生まれました。敬老感謝祭でご来場の皆様に無料でお譲りして大変ご好評頂きました。もしご家庭に眠っている不要な毛糸等ありましたらお譲り下さい。今後ともどうぞよろしく願いたします。



栄養課からの一言



早いものでございます。10月のカレンダーが始まり、Xmas料理やお正月料理の予約注文受付等が出てくると、深まりゆく秋を楽しむ時もないような早い時の流れを感じてしまいます。

お食事では、旬の食材を取り入れて秋の味覚をたくさん楽しんでいただける様に努力しております。

『落ち込みながらの食事作り・・・』

高齢になり通常のお食事が固くて食べられない・・・咀嚼機能、嚥下機能の低下により食べられない・・・普通に食べて、飲んでいられる時には全く考えることなど無いと思います。

初めて摂食機能障害の方の食事作りに関わった30数年前、コロケも、とんかつも、海老フライも、同じ形に仕上げてしまうのは何故との疑問を持ちました。一般的にレストラン・食堂・家庭料理もパン粉の揚げ物ですから色は似ていても形は違うでしょうと（ぶつぶつ一言、二言・・・）煮物料理でも同じことになっていました。元気な頃に食べた料理に少しでも近づけたいために、栄養課スタッフだけでなく様々な職種に疑問をぶつけました。

食事摂取が苦痛でなく楽しく意欲が出るように料理名が解る・季節感・色彩・形作りが重要だと思えます。一つ一つが手作り、咽込まない工夫、常食の紅白蒲鉾や伊達巻と変わらない軟菜刻

み食の形に「本物と同じだね」の一言は、スタッフ皆で大感激（本物の素材で作ったんですけど・・・）様々な形や色彩作りの素材が出回っている現代ですが、手作りも多く美的センスや喫食者を思う気持ち等、細かく大変なことが多くても工夫努力し進化できると信じ、気合を入れて作っていかなくてはと思っています。



医務・診療所コーナー



～新たに使い始めた外用薬～

今年に入ってから使いはじめた外用薬、つまり飲まずに体の表面に使う薬を紹介します。

1、クレナフィン爪外用液

爪の中に水虫が立てももって爪が分厚く白くなる、という爪白癬。今までは薬をつけても効かず飲み薬で、という事でしたが、飲み薬も、副作用やほかの薬との飲み合わせの問題もありなかなか難しかったのです。今回新しく出たのがこの外用液で、これは一日一回爪に塗ると中に浸み込んでいくというものです。飲み薬と違ってその場所に効くから使いやすい。欠点は一本約5千円、と薬価が高いこと。保険医療なので一割負担の人だと500円がかかります。

2、スミスリンローション

疥癬はヒゼンダニがおこし、ひたすら痒くなり、人から人にうつる可能性のあるものです。今までは駆虫剤を飲むか、かゆみ止めを塗るか、硫黄入りの入浴剤を使うか、などの方法で対処してきました。このたび、頸から下にまんべんなく塗って12時間以上たったら洗い流す、というタイプの新しい抗疥癬剤が出ました。必要な時に使う予定です。

3、ニュープロパッチ

パーキンソン病に使う薬は、それがよく効くものであっても、時間がたって次第に薬の効果が切れてくると、身体がかたくなってきてしまうという欠点があります。その欠点を補うべく、30時間ほど効果が続く薬を24時間ごとに貼りかえることで、効果の切れを防ぐ、という貼り薬が出てきました。必要に応じて使っていきます。

利用料金の改定に関して

日頃より施設運営にご理解・ご協力を賜り大変ありがとうございます。

寿楽荘では平成12年の介護保険制度施行と並行する形で施設の改築事業が始まり、平成13年の新館完成以来、個室を含む全ての室料を多床室として請求させていただいてまいりました。そのような状況において施設運営は定期的な介護報酬単価見直しの度に厳しいものとなってきており、今後の施設運営の安定化を図るため平成27年4月より個室に対する室料を請求させていただく予定となりました。詳細は次号以降の施設だよりにて随時お知らせをさせていただきますので、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

新春（第3回）カルタ大会のお知らせ

日時：平成27年 1月 3日（土）14時～15時頃

場所：千歳食堂

お正月の多忙な時期と思いますが、ぜひご家族の皆様もご参加頂き利用者と共に楽しい時間をお過ごしください。

小さなお子様のご参加も大歓迎です。



8月に実施したカルタ大会は、利用者57名と3組6名のご家族参加もあり大変盛況のうちに終了しました。

「インフルエンザ予防接種」のお知らせ



インフルエンザウィルスを心配する季節が近づいてまいりました。職員への予防接種も励行してまいりますが、利用者皆様へもお奨めいたします。接種して頂く時期としては11月中旬から12月が理想との事です。

◇編集後記◇

残暑もやわらぎ秋もそろそろ近づき始め過ぎやしやうい季節になりました。昨年とは諸事情によりマス釣りを秋より再開できませんでしたが、この利用者になり嬉しく思います。

幸

今後の行事予定

- 10月
 - ふれあいスポーツ大会
 - 保育園・小学校運動会見学
- 11月
 - 紅葉狩り
 - 冬物衣料品訪問販売
 - 外食会
 - 紅葉会
- 12月
 - 買物バス
 - 成道会
 - 外食会
 - イルミネーション見学
 - ゆず湯
 - 忘年会

